

24 年度栄寿会関東支部総会

明日 克人 野村 佳弘 記

関東支部総会を5月17日(金)10時20分から村田製作所みなとみらいイノベーションセンター会議室にて30名の会員の方々に参加いただき開催しました。

信本支部長の開会挨拶のあと、議案に移り①栄寿会本部関連報告②23年度支部活動及び予実報告③24年度支部活動方針及び予算(案)④24年度支部組織体制⑤24年度活動計画スケジュール(案)について各々信本支部長と高橋事務局から説明いただき、参加者全員の賛成を得て承認されました。

尚、審議の中で信本支部長より、栄寿会全体予算の実情説明があり、本部予算が厳しくなってきたため、栄寿会だよりをモノクロ印刷に変更されること(予定)や支部への配賦予算が減っているとの報告があった。しかし、支部活動がシュリンクしないよう、今年度は、費用をかけずに手軽な行事を企画するなど、色々工夫しながら取組んでいきたい旨の話がありました。

また、この度、リニューアルされた関東支部HPについて上月理事から紹介説明がありました。今後、支部イベントや同好会開催通知や報告などのコミュニケーションツールとして大いに活用を図っていければとのことでした。

総会后、休憩をはさんで、みなとみらいイノベーションセンターの岡本事業所長よりご講話を頂きました。ムラタの経営や技術開発の状況や当事業所のみなとみらい地区の変遷など多岐にわたる内容でしたが、中でもこれからの世の中を大きく変える生成AIの話題は、特に興味深いものでした。岡本事業所長は栄寿会の会員でもあります。試しにAIに栄寿会の課題(高齢化と会員が増えない解決策)を問うてみたら、即座になるほどと言えるような回答が返ってきたそうです。そのやり取り内容を会場でご披露いただき、みな驚いた次第です。(驚いたというより、ついていけないというのが本音かもしれません?)

みなとみらいイノベーションセンターでの総会を終え、初夏のような汗ばむ気候でしたが、懇親会会場まで徒歩15分程の桜木町駅へ。みなとみらい地区は横浜の中でも人気のスポットで、JR桜木町駅前と新港地区の運河パークを結ぶ都市型循環式ロープウェイを見ながら会場の「横浜桜木町ワシントンホテル」へ移動しました。ホテル5階のレストランは、最高の眺めで、多くのレディースがランチを愉しまれていましたが、参加者26名は、レストランの奥にある個室会場へ向かいました。

信本支部長の挨拶後、今年喜寿を迎えられた前支部長の毛利雅一さんからご挨拶&乾杯発声で懇親会をスタート。しばらく食事・歓談後、関東支部同好会活動の現状や今度の取組みについて各リーダーから報告して頂きました。音楽鑑賞(坂本秀夫さん)、カラオケ(大部征男さん)デジカメ(高橋正さん)文化・散策・食彩合同(本多修一さん)ゴルフ(野村佳弘)

後半、多くの出席者から近況や昔話をしてもらい、皆さんの様子を伺うことが出来ました。最後に昨年入会された伊藤政朗さんから中締め、あっという間の二時間でしたが、和気藹々とした雰囲気の中で、盛会のうちに終わることが出来ました。



生成AIとは？

ChatGPTは米OpenAIが開発したテキスト生成系AIの一種で、2022年11月にリリースされました。テキストボックスにユーザーからの質問を入力・送信することで、AIが人間と会話しているかのような対話形式で質問に回答してくれるサービスです。

生成AIの国内需要額は2030年に1兆7774億円、JEITAが予測

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved. 17 Mar 2024 26

Murata Copilotを使ってみたら。。。 muRata

私は、企業の定例会事務局長を担っています。
 表は、会員の高齢化や定年退職の延長により、会員数が伸び悩んでいます。
 退職された方に新役員を推挙していただき、会員数の増加と平均年齢を下げるのが、大きな課題です。
 解決するために、弊会にもつの特長を御覧ください。

1. 役員候補の候補者募集 定年退職しついでに引退、入会特許が許可される イベントへの参加参加などの魅力的な特典を確保し、OB会への所属を促します。
2. 定例的な役員候補とフォローアップ 定年退職者へのOB会情報や活動内容を定期的に発信し、後援が期待できるようなコンテンツを提供します。また、新入会者もフォローアップを行い、後援の期待を促します。
3. 交流イベントの多様化 定年退職者が興味を持ちそうな趣味や趣味にあった交流イベントやセミナーを企画し、新たな出会いや楽しみを提供します。例えば、趣味グループ参加や文化・芸術活動への参加などが考えられます。
4. 若手社員との交流機会の創出 若手社員と定年退職者との対話できるテーマで交流する機会（例：キャリア相談セッション、スモールシアターイベント）を設けることで世代間の交流が促進されます。
5. オンライン活動の推進 オンライン上で開催されるWebセミナーやオンライン交流イベントに積極的に参加する機会を確保し、これにより地理的制約も取り払い、幅広い層に参加してもらえやすくなります。

首都圏エリアのムラタの歴史 muRata

1960年 4月 東京営業所開設（東京と港区）
 1972年11月 東京支社に改組（川崎市元住吉へ移転？）
 1985年 5月 電気音響（本社：東京大田区）を100%子会社化
 1986年 6月 電気音響本社を六郷事業所とし、東京営業所も移転
 1988年11月 横浜開発センター設立（横浜市緑区）
 1994年 3月 ムラタエレクトロニクス（MSC）設立（横浜市みなとみらい）
 1999年 3月 東京支社移転（渋谷区）
 横浜開発センターから横浜事業所に名称変更（横浜市緑区）
 2000年12月 横浜事業所 新棟建設（横浜市緑区）

2019年 4月 ムラタエレクトロニクス（MSC）をムラタ（MMC）に吸収合併
 2020年12月 みなとみらいイノベーションセンター設立（横浜市みなとみらい）

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved. 17 May 2024 25

